



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイエスエス
代 表 者 名 代表取締役社長 藤木 孝夫
(コード番号:6074 東証スタンダード)
問い合わせ先 取締役管理本部長 濱治 雅弘
TEL 06-6449-6121 (代表)

特別損失の計上および2023年3月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）決算において、2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、採算性が悪化している直営事業所の固定資産の将来回収可能性を検討した結果、2023年3月期におきまして62,594千円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

2. 2023年3月期通期業績予想と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,373	百万円 350	百万円 346	百万円 280	円 銭 72.45
実績値（B）	8,073	425	430	234	60.74
増減額（B－A）	△300	75	84	△46	－
増減率（％）	△3.6	21.4	24.3	△16.4	－
（参考）前期実績	7,550	289	285	112	29.08

・2023年3月期通期業績予想と実績値との差異

当社におきましては行動制限がない状況において、季節ごとの入会キャンペーン短期教室、体験会等による休会者の復帰促進および退会防止、入会者の確保を図りながら、旅行企画および選手強化合宿等、宿泊を伴うイベントを再開した他、自社施設内で行う練習会等を地域の感染状況に応じて実施することで収益の確保に努めました。

また、近年の水道光熱費および燃料費高騰への対応として2022年10月から燃料代として、会員1人につき月額400円の徴収を実施し収益の改善を図った結果、売上高については、概ね計画通りに推移しました。

利益面につきましては、原材料費や水道光熱費等の高騰があったものの、前述の燃料代の徴収および各業務のオペレーション見直しやWEB会議システムの活用による人件費、旅費交通費をはじめとするコストコントロールの徹底など、経費圧縮を進めた結果、営業利益および経常利益につきましては、計画を上回り、当期純利益につきましては、前述の通り特別損失を計上したことにより、予想を下回ることとなりました。

以 上